

4 豊かな農村資源の保全

(1) 農村地域が持つ多面的機能の維持・発揮

- ◆多面的機能支払制度活用による良好な農村環境の維持
- ◆中山間地域等直接支払制度活用による中山間地域の農地や農村景観の保全
- ◆集落連携等による取組拡大 ◆集落営農組織への発展促進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
多面的機能支払交付金 交付対象農用地面積	1,266ha	1,270ha	1,270ha
中山間地域等直接支払交付金 交付対象農用地面積	556ha	560ha	560ha

(2) 鳥獣被害防止対策の実施

- ◆防護柵等設置の推進 ◆集落ぐるみの防止対策の推進 ◆捕獲者の確保育成と駆除の強化
- ◆近隣市町との連携強化 ◆鳥獣被害を受けにくい作物の作付誘導 ◆ジビエ活用の検討

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
農作物被害額	4,323千円	3,800千円	2,000千円

5 農業生産基盤の整備推進

(1) 担い手への農地集積・集約

- ◆農地中間管理事業活用による担い手への農地集積・集約化の推進
- ◆集落ぐるみでの農地集積・集約化の推進 ◆担い手間の農地利用調整の推進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
担い手への農地集積率	24.7%	50.0%	70.0%

(2) 基盤整備の推進と農業インフラの保全

- ◆農地中間管理事業の活用による基盤整備の検討 ◆農家の自力施工を主とした簡易な基盤整備の推進
- ◆農業インフラの整備・改修の推進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
圃場整備率 (水田)	38.2%	38.2%	41.3%

6 農村資源を活用したアグリビジネスの展開

(1) 6次産業化の推進

- ◆原材料の安定供給 ◆取組者拡大や商品開発力の強化 ◆加工施設整備の推進
- ◆食の安全・安心の規範徹底 ◆6次産業化相談窓口の設置
- ◆近隣市町や農工商、大学・研究機関との連携強化

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
6次産業事業主数	25人	30人	35人

(2) 直売所の振興

- ◆商品アイテムの充実や看板商品の開発支援 ◆町内直売所の連携強化 ◆人材育成による直売所の経営力強化

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
直売所売上額 (9直売所)	1.9億円	2.4億円	3.0億円

7 都市・農村交流の推進

(1) グリーン・ツーリズムの推進

- ◆農泊推進による滞在型グリーン・ツーリズム推進 ◆各種ツアー等の実施による丸森ファンの拡大
- ◆大学等連携による魅力向上の活動推進 ◆インバウンド推進事業との連携による外国人の誘客

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
農泊施設数	1	3	10

(2) 市民農園・交流施設の活用

- ◆市民農園の魅力向上による定住の促進 ◆お試し就農体験事業等の活用検討
- ◆農業体験事業や交流事業の推進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
市民農園利用率	100%	100%	100%

丸森町農業振興ビジョン発行にあたって

丸森町長 保科郷雄



農業は、私たちが生きていく上で欠くことのできない食料を生産する大切な産業であり、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承など多くの役割を果たしております。

さらに本町では、集落の大半が農山村であり、地域コミュニティの維持や、地域活性化という観点からも、農業の果たす役割はとても重要で、農業が元気になれば、町も地域も元気になると考えております。

この度、策定した丸森町農業振興ビジョンは、「若者があこがれる丸森町農業の実現」を基本理念とし、「儲ける農業の推進」「元気な農業の推進」「活力ある農村づくりの推進」を基本方針に掲げております。本町農業の将来を見据え、産業としての持続的発展と美しい農村景観、誇りある農村文化を後世に継承するために、多くの人たちによって本町農業を支え合うとともに、若者が職業として選択できる魅力ある農業への転換を図ってまいります。

また、このビジョンでは、これまで進めてきた農家が豊かさを実感できる「儲かる農業」から一歩踏み出し、農家のやる気を引き出して、農家が主体的、能動的に農業所得を稼ぎ出す「儲ける農業」を推進し、農業産出額50億円を目指してまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重な御意見、御提案をいただきました策定委員の皆様並びに関係各位の御協力に対しまして、心より感謝申し上げますとともに、農業新時代の名に相応しい農政を展開してまいりますので、今後とも御理解、御協力をお願いいたします。

平成30年3月

計画策定の目的

農業従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の拡大など農業を取り巻く環境が大きく変化している中、本町の基幹産業である農業を、将来に亘り持続発展させるとともに、農家が真に豊かさを実感できる農業を実現するため、その指針となる丸森町農業振興ビジョンを策定しました。

計画期間・計画の性格

平成30年度～36年度(7年間)

第五次丸森町総合計画を基本とし、「食料・農業・農村基本計画」や「みやぎ食と農の県民条例基本計画」との整合性を図るとともに、各種農業個別計画を踏まえ、農業者、消費者、農業関係機関・団体とともに連携して策定しております。

基本理念・基本方針

若者があこがれる丸森町農業の実現

本町農業を産業政策・地域政策それぞれの面から推進し、農業の魅力向上させ、若者が希望・誇り・やりがいを抱き、職業として選択できる農業を目指す。



基本目標

(1) 農業産出額

部 門	H27 (現状)	H31 (中間)	H36 (目標)
畜 産	29.2億円	30億円	32億円
園芸特産	7.3億円	8億円	10億円
水 稻	8.4億円	8億円	8億円
合 計	44.9億円	46億円	50億円

※H27 (現状)：農林水産省H27市町村別農業産出額 (推計値)

(2) 農業所得額400万円以上の認定農業者

H28 (現状)	H31 (中間)	H36 (目標)
15経営体	30経営体	50経営体

※法人の場合は、代表役員の報酬額とする。

基本施策

1 新たな活力を生む農業・農村担い手の育成

(1) 集落営農の推進

- ◆集落営農の組織化・法人化を推進
- ◆園芸作物の導入や6次産業化の取組推進
- ◆地域の後継者育成と雇用者の確保
- ◆中山間地域での労働集約型組織の設立検討
- ◆組織を統括するリーダーの育成
- ◆組織間の連携や包括組織の検討

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
集落営農法人数	4経営体	5経営体	10経営体

(2) 認定農業者の育成

- ◆400万円以上の農業所得額を確保できる認定農業者の育成
- ◆青色申告の実施等による経営感覚の優れた認定農業者の育成
- ◆法人化の推進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
農業所得額400万円以上の認定農業者数	15経営体	30経営体	50経営体

(3) 新規就農者の確保

- ◆認定新規就農者の積極的な受入
- ◆サポートチーム体制の整備
- ◆法人雇用の促進
- ◆共同住居や情報交換機会の提供
- ◆親元就農者の確保

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
新規就農者数 (年間)	4人	5人	5人

※新規就農者数：独立自営就農・親元就農・法人雇用者

(4) 多様な担い手の確保

- ◆定年帰農の促進
- ◆援農ボランティアや地域おこし協力隊制度の活用
- ◆高齢農業者の生きがいの場づくり
- ◆企業系農業法人の誘致
- ◆女性グループ等の活動推進
- ◆JA等出資型農業法人の設立検討

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
女性グループ数・女性経営者の農業法人数	11団体	13団体	15団体

2 地域特性を活かした産地づくり

(1) 畜産の振興

- ◆町営放牧場や子牛育成センター活用による低コスト化と良質牛生産
- ◆牛の放牧推進による飼養管理労力の負担軽減と耕作放棄地の解消
- ◆コントラクター組織育成による自給飼料の生産拡大
- ◆牛群改良やICT (情報通信技術) 等最新技術の導入による生産性向上
- ◆血統や改良技術継承による優良肉用牛の生産
- ◆養豚・養鶏農家の規模拡大と安定的経営の維持
- ◆畜産物のブランド化の推進
- ◆繁殖・肥育一貫経営の検討
- ◆ワーク・ライフ・バランスのとれた経営促進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
乳用牛飼養頭数 (搾乳牛)	1,261頭	1,300頭	1,400頭
肉用牛飼養頭数 (繁殖牛)	309頭	370頭	400頭

(2) 園芸特産作物の振興

- ◆機械化・施設化や最新技術導入による重点作物の振興
- ◆転作田等の活用による土地利用型園芸の推進
- ◆干柿やへそ大根 (凍み大根) 等のブランド化の推進
- ◆高収益型の施設園芸の推進
- ◆中山間地域の特性を活かした果樹栽培や作物振興
- ◆加工用作物の導入

【農業振興ビジョン振興作物】

区分	作物名
重点作物	ブロッコリー、小菊、柿 (干柿等)、イチゴ
施設園芸作物	イチゴ (再掲)、トマト、軟弱野菜
土地利用型園芸作物	タマネギ、ネギ類、ニンジン
果樹作物	柿 (再掲)、イチジク、ぶどう
その他振興作物	きゅうり、インゲン、スナックエンドウ、そら豆、タケノコ、へそ大根 (凍み大根)、ワラビ、フキ、エゴマ

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)	
重点作物出荷額	ブロッコリー	1,824万円	5,000万円	10,000万円
	小菊	1,585万円	3,000万円	5,000万円
	柿	4,276万円	7,000万円	10,000万円
	イチゴ	4,782万円	7,000万円	10,000万円

(3) 水田農業の振興

- ◆主食用米の品質・ロットの安定化
- ◆丸森産米のブランド化による産地イメージの向上
- ◆新規需要米 (飼料用米・稲WCS等) の生産拡大と耕畜連携の推進
- ◆畑地化の推進による土地利用型園芸や果樹栽培の振興
- ◆低コスト稲作の推進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
ブランド米出荷量	0 t	30 t	60 t

3 安全・安心な農産物の提供

(1) 環境保全型農業の推進

- ◆丸森産農産物認証制度や環境保全型農業直接支払制度の推進
- ◆交流活動等を通じての販路拡大
- ◆安全・安心な農産物の生産
- ◆GAP (農業生産工程管理) の取組推進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
農産物認証制度取組面積	13.5ha	14.0ha	15.0ha

(2) 産地消費の推進

- ◆町内での地域農産物の認知度向上活動の推進
- ◆料理メニューの提案による消費拡大
- ◆町民の直売所活用の推進
- ◆学校や地域連携による食育活動の推進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
学校給食の地元産食材の使用割合 (重量ベース)	20.8%	22.0%	25.0%

(3) 放射能対策の推進

- ◆情報発信による風評被害の払拭
- ◆タケノコの町全域解除
- ◆土壌調査と基本的な土づくりによる放射性物質吸収抑制対策の促進

目標設定指標	現状 (H28)	中間 (H31)	目標 (H36)
タケノコ出荷量	36 t	40 t	50 t

